

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5.)

入力 番号	施設 コード	研修病 院型	保健 所	診	社福	介護	へき地産保	その他	特色
235	2-0806	2			○	○		地域小病院	
43	2-0809	1	○	○					平成17年度は、保健所2週間、残りの2週間を訪問看護・ケアセンター、開放病床協力医診療所で研修
48	2-0817	2	○						
287	2-0819	1		○				赤十字血液センター・中小病院	社会福祉施設の役割について総合相談室で実践する。また診療所の役割については医療連携室において病診連携の実施を理解し、診療所で実践する。その他、広島県赤十字血液センターにおいて、その役割を理解し検診を実施する。
88	2-0822	2	○		○			赤十字施設	赤十字としての活動(血液事業や災害救護活動など)を取り入れている
266	2-0824	1			○		○		介護保険、訪問看護、在宅介護などの研修を3週間おこない、残りの1週間をマツダ(株)健康管理センターで産業医について、労働安全管理体制、健康診断、職場巡視、メンタルヘルスマネジメントなどの研修をおこなう。
153	2-0825	2	○	○				協力型病院	
122	2-0832	2						公立みづき総合病院	全て、任せてあり、具体的な打ち合せは行っていない。
293	2-0835	2	○	○					・保健所(福山市保健所) 体験しにくい内容をはじめとし、自ら学ぶようにカーヌメツジ等の研修方法を取り入れる。
165	2-0836	2		○					将来的には一診療所の所長ができる力量を身につけることをめざし、初期診断・治療の全般をある程度の時間的余裕をもって経験できることを1重症心身症児に接することは将来的にもあまりないものと思われ、特に重点的にとり入れ、真の意味でのプライマリーケア全科にあたる◆◆方法etcの習得を目的とした。
143	2-0839	2	○	○	○	○			別紙参照
196	2-0840	2	○						
268	2-0841	2			○				①ケアプランの作成 ②老人の介護実技の習得 ③作業療法の実技習得 ④入所判定会議に参加
4	2-0844	2	○						
197	2-0858	1	○		○	○			・当院はへき地医療拠点病院として、徳島県内のへき地医療を支援する病院でもあり、へき地医療を理解し、将来的にも専門医のみならず、地域包括ケアを実施する医師が育つことも願って充実した包括ケアセンター等での研修を計画した。 徳島県地域医療支援センターと連携を図り、広範囲にわたるへき地医療等の研修を実施するにあたり、幅広い分野において十分な協力的体制を考えている。
277	2-0859	2	○	○	○	○			

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5.)

入力番号	施設コード	重視点	問題点	その他
235	2-0806	到達目標が広く、期間(1~27)での研修では不十分と思われる。	病院の地域特性を生かして地域保健・医療を67日以上研修するプログラムを作成したい(H18年)と考えている。診療所、保健所、社会福祉施設など全てを経験させたい。将来医療行政を担当したいと考える学生達が選択していただければと考えています。	
43	2-0809	地域の中で保健所の果たす役割を理解すること。病診連携の実際を体験すること。		
48	2-0817	当院にてできない研修を保健所担当者と直接会談した。		
287	2-0819	当院の中で研修の難しいところを補完できるように考えた。	モチベーションの保てる病院、施設、研修内容を設定することに苦心した。	平成18年度のプログラムでは地域保健の内容を変更する予定である。今後は当院において経験できない項目も「地域保健」で経験させる予定である。
88	2-0822	診療現場だけでなく、医療事務の研修も取り入れた	プログラム作成側と研修医の希望の内容との相違	
266	2-0824	他の病院にない特徴、つまり産業医活動の研修を入れた。		
153	2-0825			
122	2-0832			
293	2-0835	・保健所 座学でなく実際に体験できる研修内容を多くすること。	・保健所 事前に研修医の要望を聞き、できる限り要望にそった実りある研修にすること。	・保健所 日々の業務に追われている中で、十分な指導態勢がとれるか不安である。
165	2-0836			
296	2-0838	上記に準じます。		
143	2-0839	医師として身につけるべき、保健・医療・福祉の知識を修得出来るように配慮しています。		
196	2-0840			
268	2-0841	1)介護実技の習得 2)介護とは何か、地域保健、医療との関係 3)ケアマネージャーとは何か		
4	2-0844			
197	2-0858	・指導医の確保・へき地医療機関では、少ないスタッフで日頃より業務にあたり、研修医の指導(は新たな負担となることに対する、対応(目に見えるメリット)が少ない点(将来的には前記のような目的をもっていることとを理	・山間へき地における地域包括ケアの実践が大きな特徴である。	
277	2-0859	地域保健・医療を研修医全員に6週間設定し、その内2週間の保健所における研修を実施し、保健医療行政を研修させるようにしている。	研修医全員に保健所、へき地医療等の割り振りに苦心した。	

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5)

入力 番号	施設 コード	研修病 院型	保健 所	診	社福	介護	へき地	産保	その他	特色
234	2-0860		2	○						
78	2-0861		1	○		○			赤十字血液セン ター	赤十字施設の一つとして血液センターでの研修(1週間を予定)を必須と した
241	2-0863		2	○						
261	2-0867		2	○		○	○		血液センター	保健所2週間、血液センター2週間、老健施設1週間、難島診療1週間の 計6週間。保健所では、保健センターでの各種検診事業、1次夜間救急 での実施研修を行う。血液センターでは、献血バスや献血ルームでの実 施研修を行う。難島診療では巡回診療も行う。
248	2-0871		2	○		○				同上
294	2-0872		2	○		○	○			地域包括ケアに病院全体で取り組んでいるので、その現場を実際に見 せ、経験してもらうことにしている。
245	2-0891		2			○	○			研修医が、現在の介護保険制度を里K氏し、実際に患者様になれあい ながら研修の修得が行えるように配慮した。
218	2-0893		2	○						
89	2-0886		2	○						
265	2-0889		2	○		○	○			①県内の研修医のほぼ全員(大学研修医の全員)が経験すること ② 県と大学が一緒になって2ヶ月のしつかりしたプログラムと体制を作った2 点が特色です。
91	2-0890		2	○		○			リハビリステーショ ン病院	ERから急や◆◆◆◆期、回復期在宅までの医療とリハビリテーショ ンを体験し、地域実◆◆型の健康システムを体験して、今後の◆◆◆◆としての 人格的◆◆◆◆に役立たい
256	2-0892		2	○			○		赤十字血液セン ター	保健所、診療所(老健)、グループホーム、訪問診療)赤十字血液セン ター、当院健康管理センターでの健診事業等、幅広い分野で研修をする こと。
286	2-0893		2				○			2年次の必須ローテーション科で2ヶ月の研修期間において僻地や難島の社 会、文化に触れ、日本の数十年後を思わせる高齢化と特有の風土の中 で、その土地に適合した医療を実践し、地域医療の本質を理解する。 ・地域の住民組織(生協組合)と連携した保健・医療・介護部門との連携
76	2-0897		2	○						

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5.)

入力 番号	施設 コード	重視点	問題点	その他
234	2-0860			
78	2-0861	近隣クリニックや医療施設を対象とした◆◆のクリニック、◆◆健康施設、リハビリセンターと多様なものを研修できる	短期間(4週間)に地域保健や医療を理解することができ るか疑問である	
241	2-0863			
261	2-0867	通所の診療では経験しない業務をできるだけ幅広く研修 できるように協力施設を選定した。	各協力施設との日程調整、受入れ定員調整など。その 時期にしか実施していない事業にうまく組み込めるよう に。1人ずつがよい施設と植数名がよいという施設が埋 在した。受入れに対する費用は、と特に求められていな いが、今後請求せられる可能性もある。	
248	2-0871	近隣に地域医療を体験できる施設が少なく、また香川小 児病院や香川労災病院の研修医との重複を避ける点に ・プライマリケアの現場を見学するのみでなく、実際に体 験、経験してもらう。・病院の中だけが医師の活躍する 場でなく、地域には色々な医療に対するニーズがあるこ とを実感してもらう。・在宅ケアの現場で地域の保健・医 療・福祉のネットワークを理解する。	見学型実習に終わらないようにすること。	
245	2-0881	現場にマニュアルの問題があり、指導者が少ない点。 日常業務を行う上で障害など。		
218	2-0883	愛媛県が作成。		
89	2-0886	保健所にまかせた	満足の研修計画となつたかどうか不安が強いです	プログラムを作成したら、実際研修医を受け入 れているので向とも力がない。できれば、受 け入れられた施設のプログラムの良い物を紹 介していただくとよい。
265	2-0889	別添の通り	別添の通り	別添の通り
91	2-0890			
258	2-0892	病院以外のより多くの施設で研修を行なうことで、プライ マリケアの充実を努めた。	何分、初めてのことであり、又、受け入れていただけ るかも初めてのことで、研修医の人数が何人になるのか、 また、研修内容をどのようにしたらよいのかという問題が あった。	1か月の間に4ヶ所で研修するようになってお り、各施設での研修は1週間程度であるため、 期間については、今後研修を行う中で随時検 討し、必要があれば見直しをする。
288	2-0893			
76	2-0897			

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5.)

入力 番号	施設 コード	研修病 院型	保健 所	診	社福	介護	へき地	産保	その他	特色
1952-0899			1	○						研修医がモチベーションを持って研修できるようなプログラムにして頂くよう、依頼している。
1872-0901			2	○						研修病院以外の診療がどのようなに行なわれているかを体験させたいと思った。そのような施設で患者さんお健康を守るうとする人々の熱い心を研究医に伝えたかった。
2362-0916			2	○					訪問看護ステーション	
342-0917			2	○					健診センター	
2812-0920			1	○						①産業医の実務経験を持つ指導医が「産業保健」のプログラム(参加型)を企画、指導する。②地域医療のプログラムでは、介護老人保健施設、在宅ケアセンター、診療など多面的な地域密着型の研修(2ヶ月)
2842-0927			2						回復期リハビリテーション病医	別添プログラム 1.研修プログラムの目標と特徴の通り
552-0929			2							
2552-0934			2					○		総合的・基本的な医療技術の修得や医師としての人格形成に努める。院内で行う研修は単科で行うのではなく、臓器別や診療体系にあわせられた関連診療ごとにグループ化した研修プログラムで研修医の希望する研修に重点がおけるようにしている。
1062-0935			2	○						現在離島診療を2ヶ所行っており、プログラムに導入を考えている。
1892-0936			2	○						保健行政や福祉施設の実態を体験できること。
2242-0937			2	○					健診実施施設、血液センター	同上
1462-0942			1						退院・医療社会事業部、健診センター、保健指導室	
772-0945			2	○						
2922-0948			2	○						別紙プログラム参照下さい。(保健所に任せてあり、こちらで特別なものはありません。)但し、別に在宅医療現場を経験させる予定あり。

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5.)

入力 番号	施設 コード	重視点	問題点	その他
195	2-0899	保健所の受け入れ時期、人数に制約があり、研修医の希望とのマッチングに苦労した。		
187	2-0901	保健所の対応がおそいため、平成17年度からリハビリや訪問看護などを行っている民間病院へ依頼しました。		
236	2-0916	現在になっても研修する保健所の特定ができない。このため、◆かった保健所で研修しないように指導している。		
34	2-0917	当該地域の実情にあったものを盛り込むこと第1◆の診療所の経緯。	時間配分etc不慣れな点が多く苦労しました◆◆の施設との調整。	
281	2-0920	能動的な研修ができるよ、参加型研修を最大限にとり入れた。	研修内容の調整、吟味にはかなりの時間を費やしたが、幸い「産業保健」「地域医療」ともに実務経験豊富な指導医の協力が得られるので、比較的スムーズに計画でき当初県(保健福祉環境事務所)へ依頼していたが、プログラムの出来上がりが遅く予定が立てられなかった為、申請プログラムを変更し独自に作成した。	特になし。
284	2-0927	別添プログラム 3研修目標の通り		特になし。
55	2-0929			
255	2-0934	臨床研修医が不足している。		
106	2-0935	保健所の役割について、知識を深める。		平成17年度より研修医を受け入れる事になり、満足する「地域保健・医療」の研修がどの様なものが改善して行こうと考えている。
189	2-0936	診療所(かかりつけ医)の研修で日程調整に苦労した。		
224	2-0937	施設の選定		
146	2-0942			
77	2-0945			
292	2-0948			協力施設(保健所)に一任しています。

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5.)

入力 番号	施設 コード	研修病 院型	保健 所	診 	社福	介護	へき地	産保	その他	特色
262	2-0954		2	○			○			熊本県におけるへき地へ1ヶ月間派遣を予定している。
211	2-0958		2	○			○			スケジュールについては、休診日を調査し、へき地診療所など遠方まで異動する場合など特に異動期間について配慮した。
107	2-0962		2	○			○			34施設の中から自分が研修したい施設を選択できる。
100	2-0964		2	○			○			
285	2-0965		2							高齢、過疎地域での診療所所長を経験すること。
253	2-0966		2						医療法人、病院	
32	2-0974		2				○			稚島(奄美大島)の病院、診療所での2ヶ月間の研修
74	2-0979		2				○			鹿児島大学を中心に計画されたプログラムになっており、複数の管理型が全県下のへき地にバランスを考慮し配置しています。
299	2-0980		2	○				○		へき地医療、一般診療所
300	2-0988		2	○			○			別紙に記載
298	2-0990		2	○				○		離島診療所での研修
27	2-0991		2				○			地域住民との協力を密にする目的で診療所における研修を重視
52	2-0992		2				○			
23	2-0997		2				○			*介護老健施設は同一法人、診療所は臨床研修群「むけぶし」

臨床研修「地域保健・医療」研修(病院)

(内部検討用資料:2005.4.5.)

入力 番号	施設 コード	重視点	問題点	その他
262	2-0954	臨床医を目指す人にはへき地医療を経験させるべきと思 い、平成18年度より協力病院を増やしてへき地へ1ヶ月 間派遣するようになりました。	とくにありませんが、1ヶ月間の間に受入病院診療所が ちゃんと指導してもらえるかはまだ未知数です。	
211	2-0958	未だ実施していない。計画段階では各診療所の指導医 の先生方の熱意次第であるので新臨床研修制度に理解 をもつてくれるところを選択した。		
107	2-0962			
100	2-0964			
285	2-0965	地域医療や上記診療所研修を志す研修医を受け入れる こと。	特になし。	2年間の初期研修では、上記診療所を研修とし て経験すること。後期研修(研修5年目<5さい>)に 深慮所所長任務を目指す。
253	2-0966		受入実績がないので、まだ内容が充実していません。	
32	2-0974	教員から在宅、リハビリ、健診まで幅広い分野で地域の 医療要求に応える医療活動を学ぶ	宿舍の確保、交通手配。指導体制の充実	
74	2-0979			
299	2-0980	保健所:協力的でない。		
300	2-0988	別紙に記載	別紙に記載	別紙に記載
298	2-0990	当初、「地域保健・医療」の研修については、当院の附属 診療所5ヶ所を利用して行う予定であったが、難患診療 所の受け入れ体制が不十分なことがわかり、開業医期 間と保健所での研修をもちこむことに変更した。	プログラム変更の手続きで、九州厚生局の指導を仰いだ が、懇切ていねいに指導していただいた。	
27	2-0991	同上		
52	2-0992			
23	2-0997	研修医の希望		





<p>1ヶ月より長い期間「地域保健・医療」研修を保健所などで実施するプログラムを予定していますか？</p>	<p>「地域保健・医療」研修は、必修で1ヶ月となっております。必修研修の他、選択科目の相当分として保健所などで研修医を受け入れるプログラムを予定しているかどうかお答えください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1ヶ月より長い期間にわたり「地域保健・医療」研修の一部または全部を担当する計画がある。</li> <li>2. 1ヶ月より長い期間にわたる「地域保健・医療」研修の一部または全部を担当することを検討している。</li> <li>3. 1ヶ月を超える「地域保健・医療」研修の受け入れは考えていない。</li> <li>4. その他 ( )</li> </ol>
<p>貴保健所が実施する「地域保健・医療」研修プログラムの特色についてご記入ください。</p>	
<p>「地域保健・医療」研修プログラムの実施計画をたてるにあたり、重視した点につきご記入ください。</p>	
<p>「地域保健・医療」プログラムの計画および実施にあたって、苦心された点、問題となった点がありましたらご記入ください。</p>	
<p>そのほか、特記事項、ご意見など自由にご記入ください。</p>	

——— ご協力 ありがとうございます ———

本回答票は、添付資料とともに返信用封筒でお送りください。

返信は、同封致しました佐川急便に集荷をご依頼ください。

添付資料がない場合は、ファクシミリでお送りいただいても結構です。(FAX.03-3818-7176)

〒101-0062 東京都千代田区駿河台2-3-21

東京医科歯科大学臨床研究棟3階 国際保健医療協力学研究室 アンケート係

ご多忙中恐れ入りますが、平成17年3月30日までにご返送ください。

卒後臨床研修「地域保健・医療」プログラム（保健所）調査結果（2005. 4. 5.）

1. 依頼先： 全国保健所 566箇所
2. 依頼方法： 配送法による依頼 配送にて回収
3. 2005年3月31日まで回収分： 300保健所より回答

4. 常勤医師数

常勤医師数	保健所数	(%)
0人	4	1.3%
1人	181	60.3%
2人	65	21.7%
3人	22	7.3%
4人	11	3.7%
5人	5	1.7%
6人	4	1.3%
7人	2	0.7%
8人	1	0.3%
9人	2	0.7%
無回答	3	1.0%
合計	300	100.0%

5. 臨床研修受け入れ

	保健所数	(%)
研修協力施設であり H17 年度研修医受け入れ予定	211	70.3%
研修協力施設であるが H17 年度の受け入れなし	50	16.7%
研修協力施設ではない	36	12.0%
その他	2	0.7%
無回答	1	0.3%
合計	300	100.0%

6. 平成17年度研修医受け入れ予定人数

受け入れ予定人数	保健所数	(%)
0人	70	23.3%
のべ1~5人	78	26.0%
のべ6~10人	53	17.7%
のべ11~20人	67	22.3%
のべ21人以上	18	6.0%
不明	4	1.3%
無回答	10	3.3%
合計	300	100.0%

7. 1ヶ月以上の地域保健研修の予定

1ヶ月以上の研修予定	保健所数	(%)
予定している	5	1.7%
検討している	6	2.0%
考えていない	210	70.0%
その他	24	8.0%
無回答	55	18.3%
合計	300	100.0%

「1ヶ月以上の地域保健研修を予定している・検討している」保健所の類型

- (1) 研修目標、方法、評価の体系を整理した。研修医の要望に応じて対応する用意がある。
- (2) 保健所を中心としながら、関係機関の協力を得て実施する。
- (3) 県内の保健所が共同して研修医受け入れ態勢を整えている。
- (4) 大学の衛生学・公衆衛生学の教室と連携して受け入れ態勢を整えている。
- (5) 大学病院と連携して受け入れ態勢を整えている。

(参考)

研修の特色	重視した点	問題点	その他
指導と評価の目標を具体的な水準で、体系的かつ明確な形で設定した。(B.S.Bloomの理論に基づき)。保健衛生事業 14分野に、具体的な研修目標、方略、評価を記載した。	研修医が目的意識をもって研修に臨むことができるよう、目標を明確に述べることによって、行動目標と評価の形式を対応させた。	県型保健所、市型保健所が直接関係していない事業もプログラムに含めていくが、公衆衛生活動は、保健所がインシテイクをとり、保健所事業とそとの関連事業から総合的に理解する上で重要だと判断した。	※添付したテキストは暫定版であり、概要は変更されないが、字句や文書表現等の修正はあり得る。

<p>県の機関として協力依頼ができるだろうと思われる研修場所の協力を得ていく予定である</p> <p>市町村や医師会等の団体にも協力依頼し、保健所以外の地域保健・医療にも研修計画している。また具体的な計画は立案していない。臨床研修病院と今後協議していく予定である。</p>	<p>県型保健所では、実際に住民とのかかわりが少なくなってきたので、学ぶ場面の工夫が必要になってくる。</p>	<p>県の所長会を通して、受け入れ基本的プログラム、スケジュールを作成してきたが、地域保健・医療の保健所としてのマネジメント機能がとれていない現状が明らかになった。</p>	<p>受入れ態勢が充分整っていないため、実際の受け入れを行っていないが、すすめていく予定である。</p>
<p>・1ヶ月の研修で実務を含めて、保健所業務全般を学ぶことができる・高齢者福祉(老人介護施設での研修)や障害者福祉(施設見学)についても研修できる・研修を一定のレベルに保ち、保健所間の格差を排除するため、主要な研修内容は共通とし、県下の全保健所の医師が共同で研修を担当する。</p> <p>講義を最小限にして実際に働いてもらう。</p>	<p>・根拠法令に基づいた地域保険活動を理解する。・地域の健康づくりを経験し、ヘルスプロモーション。概念を理解する。・小児から高齢者までの生涯を通じた実生活に直結した健康づくりにかかる保健指導について理解する。・結核感染症、食中毒等の発生事例への適切な対応を通じて地域の健康危機管理を理解する。</p> <p>同上</p> <p>全国所長会、信州大学医学部の計画</p>	<p>・地域保健にかかる業務は突発的な事案も多く、指導職員の計画的配置に苦りよする。</p> <p>昭和大学公衆衛生で作成</p>	<p>ぜひ、まとまりましたら結果をお教え下さい。</p>
			<p>県全体で基本プログラムを作成</p>

<p>北海道では研修医受け入れの事前準備として研修テキストを作成した。テキスト作成にあたっては、講義形式の研修は可能な限り避け、実習やシミュレーションによる模擬体験と参加型、体験型の研修プログラムを心がけた。当所での研修も、そのテキストに基づき行われるため、参加型、体験型が特色となることを意図している。</p>	<p>研修後に研修医の多くが臨床医を選択するのであることを前提に、保健所業務に幅広く参加・体験してもらうことを重視し、保健行政に理解を深めてもらうことで、将来の保健・医療の連携充実につなげたいと考えている。</p>	<p>当所は都道府県型の保健所であるため、母子保健における乳幼児健診実習等は、管内市町村の協力を仰がなければ実施が困難であり、事前調整が必要である。今回、3ヵ月後に研修医受け入れを希望するとの唐突な要請がある、十分な準備期間がなかった。少なくとも半年以上前からの準備期間を希望する。体験・参加型の研修を目指しているが、医療監視等は身分上の制約もあり、殿程度まで実務に参加してもらうかが、未だ所内でも明らかになっていない点を問題と感じている。</p>	
<p>3月中に県全体でひな型を作り、各事務所で具体的なプログラムを作る予定。(1年前にプログラム案は作製しているが、今回見直し中)</p>	<p>保健所と福祉事務所が統合されたので、両方の視点を経験できるものを考えている。</p>	<p>研修の目的を明確にし、SBOS、LS等を体系づけるのに苦労した。職員の意識づけを苦労している。</p>	
<p>現在は1ヵ月以内の研修受け入れ予定だが、研修医の希望があれば、1ヵ月以上の研修も可</p>	<p>保健所内だけではなく、市町村保健事業、老人保健施設、訪問看護ステーション、へき地診療所等をプログラムに入れている。</p>	<p>できるだけ、講義ではなく、実際の現場を体験し、地域保健福祉のために、医師として何ができるか考える機会を持たせるといった点を重視し、研修プログラムを実施する予定。</p>	<p>受け入れ予定研修医に事前アンケートをとったが、保健所の業務内容や、地域保健についての基礎知識が非常に乏しく、研修実施への不安がある。</p>

<p>【6週間を予定】包括的な保健・医療・福祉を理解するとともに医師の責務としての保健指導及び公衆衛生の重要性を実践の場で学び併せて地域保健行政における医師の役割を理解させる。</p>	<p>・関係法令の理解及び各機関の役割の理解・各種対策及び業務の理解と実践・社会人としての基本的マナー、住民の接遇方法、職場での対人関係・県庁業務の理解と実践</p>	<p>具体的日程は決まっていないが、プログラムの作成にあたって当該研修期間中に保健所の関係重要事業が当たるよう年間計画をたてるが、その調整に苦慮すると思われる。</p>	<p>薬剤師、保健師、獣医等の多くの分野に分かれているので、医師としての役目の分担の少ない点が、他の研修と比べて実務がない分、手持無沙汰となるかその点を憂慮する。</p>
<p>【週1回で6ヶ月】保健所の事業の中で特に医師が関係する内容を研修に含める。(結核審査会、各種相談や家庭訪問、医療機関の立入検査(医療機関の了解のもとに)、感染症、食中毒などの健康危機管理など)。市町村・医師会などの協力ののもとに、可能な範囲での事業見学や参加など。</p>	<p>保健医療行政制度を基本とした保健所の事業活動の実際は、地域・保健医療の統合した中に、どのように位置づけられるのかを理解し、その中で公衆衛生の専門医師の果たすべき役割を理解すること。</p>	<p>保健所と市町村との連携がどれだけ図れるか。</p>	<p>;</p>
<p>【2ヶ月研修希望者があり検討中】保健所以外の場での研修を多く実施できるように努めた。</p>	<p>将来、臨床医療の現場で働く医師を想定し、臨床医療と連携を意識し、保健所以外の研修も多くとり入れた。</p>	<p>外部機関との調整に時間を要した。研修医の研修に対する考えがつかみかねる。</p>	<p>研修を受け入れる側への支援が余りにも不十分です。しっかりとした研修を実施するには、それなりの体制整備に向けた支援が必要です。</p>



臨床研修「地域保健」研修(保健所プログラム)の特色、重視点、課題、等)

(2005. 4. 5.)

入カ番 号	施設コー ド	医師 数	研修 受入 数	1ヶ月以上の研修 研修プログラムの特色	実施計画における重視点
00030	4-0001	1	1	1ヶ月のプログラムを道立保健所と政令市保健所が役割を分担し、各2回づつの研修を行う	「保健行政システムを理解する」と「健康危機管理を理解する」の2本立てテーマで研修医自身が「考える、実践する」内容のプログラムとした。
00208	4-0004	1	1	(プログラム構成)・医師の臨床活動が広範に実施できる様関連する保健所の職務を全て組み入れることとした	(方法)講義(基礎知識)→参加型、実践型研修→ケースカッ ション(知識・実践の統合)の一連の流れで学習を深める
00105	4-0005	1	1	各課、係から保健所の主な業務を計画している。保健所でないければ研修できない「地域保健」の内容とし、研修医の希望により、研修内容の調整を考えている。	保健所機能を理解できる研修内容とした。
00112	4-0009	1	1	体験型の研修をめざし、実践・シミュレーション・ロールプレイといった具体的実務の体験を多く取り入れ、「地域保健」のイメージ化を図りやすいものとした。	臨床医として、診療に当たる際に公衆衛生に関する基本的な技術を身につけ、地域保健との連携を持つことをめざす。生活者の視点を持ち、診療に当たることができるよう、住民との接点を多く持てるようにする。
00133	4-0011	1	1	北海道保健福祉部が作成した「道立保健所研修テキスト」に基づき保健所各課・係が連携・協力し、研修委員会を設置し、日常業務を通じた研修を行い、「地域保健・医療」や保健所の役割を理解できるように計画したい。	大勢の関係者により推進されている「地域保健・医療」を医師として客観的に理解できるように配慮したい。
00287	4-0012	2	1	北海道では研修医受け入れの事前準備として研修テキストを作成した。テキスト作成にあたっては、講義形式の研修は可能な限り避け、実習やシミュレーションによる模擬体験と参加型、体験型の研修プログラムを心がけた。当所での研修も、そのテキストに基づき行われるため、参加型、体験型が特色となることを意図している。	研修後に研修医の多くが臨床医を選択するであろうことを前提に、保健所業務に幅広く参加・体験してもらうことを重視し、保健行政に理解を深めてもらうことで、将来の保健・医療の連携構築につなげたいと考えている。
00029	4-0015	1	1	全道共通の「新医師臨床研修に係る道立保健所テキスト等作成検討会」で作成したテキスト、事例集に沿って行う予定で	同上
00165	4-0016	1	1	臨床現場で即役立つ実践的・技術的な研修プログラムを中心に組み立てた。よって保健所の仕事を総論的に説明するようなプログラムにならないように心がけた。	単なる施設見学や訪問見学でなく、臨床医として患者の家庭環境や家族背景まで考えて診療・治療を行う姿勢の習得ならびに入退院時の地域関係者との連携の重要性、協調性を認識してもらうことをねらった内容にした。
00130	4-0022	1	1		①保健所でしか体験できないプログラム(食品、医療機関の監視業務)の計画。②患者とその家族の日頃の思い、生活状況等を聞くことのできる場への参加(精神、難病患者家族会、共同住居、作業所等)③保健所の全職員が研修医と関われるプログラムの計画(講義、実技、事例検討など)

臨床研修「地域保健」研修(保健所プログラム)の特色、重視点、課題、等)

(2005. 4. 5.)

入力番号 施設コード	苦心点、課題	その他	備考
00030	4-0001	保健福祉統合型の組織を生かし、児童相談所や社会福祉課との連携した研修内容としていきたい。	
00208	4-0004	専業理念は◆時できるが、順序に係る保健所の、役割・責任の位置づけ等を理時することは難しい(所内合意も)又、事業に必要な人的・財政的な措置が不十分なため負担が大きい。諸条件の整備と所長(指導医)のリーダーシップが不可欠と考えている。	
00105	4-0005	臨床研修病院が「地域保健」の研修イメージを持てるようプログラムが必要。研修医が地域保健の研修先を選択できるよう保健所研修内容についての説明の機会を持つことも必要と考える。	
00112	4-0009		
00133	4-0011		
00287	4-0012		
00029	4-0015		全道共通のテキスト事例集を使います。北海道保健福祉部地域保健課にご請求下さい
00165	4-0016		
00130	4-0022		

研修受け入れ 1: H17年度受け入れ予定; 2: 研修協力施設だがH17年度受け入れ未定; 3: 研修協力施設ではない; 4: その他

臨床研修「地域保健」研修(保健所プログラム)の特色、重視点、課題、等)

(2005. 4. 5.)

入力番号	施設コード	医師研修人数	1ヶ月以上の研修 研修プログラムの特色	実施計画における重視点	
00301	4-0023	3	1	結核・感染症・食品保健、医療安全のユニットにより健康危機管理の内容と、市町村の協力 をもらい、母子保健、高齢者のユニットを組んでいる。	地域実態や地域資源関係者との連携がみえる内容。
00277	4-0024	3	1	道庁が作成した(標準)テキストに基づき、講義は最低限に、演習を中心に作成。	研修医が、臨床医の立場で、地域保健における役割や活動を理解する。
00161	4-0027	3	1	実習が盛り込まれている点。 政令保健所として、保健所業務・市町村業務の両方が盛り込まれていること。	実際の業務に接してもらうように。 地域における保健と医療の連携を様々な事業をとおして体験できること。
00150	4-0030	3	1	1週間という短期間のプログラムのため保健所において、行われる業務を一通り理解できるもの、さらに臨床医の立場でも、関わりの深い業務に焦点をあてたプログラムとしている。	上記のとおり。
00031	4-0036	1	1	保健だけでなく、福祉専門、市町村業務、産業界の役割etcも視野に入れていること	現場を見せる、参加させることを重視
00032	4-0044	1	1	現在、2週間のプログラムの予定し調整中。	”
00225	4-0045	1	1	プログラムは現在検討中	”
00156	4-0048	1	1		
00286	4-0049	1	1	研修医所属病院の希望に沿い、地域医療現場の研修を中心にプログラムを作成した。	同上
00145	4-0052	1	1	具体的な内容は未定。但し、次のようなことを考えています。 ①結核 届出、診査会、定期外健診②在宅ホスピス③難病届出、公費制度等④その他種々の届出(希望があれば)食品監視、廃棄物関連、生保制度	
00253	4-0057	4	1	プログラム等検討中です。	”
00091	4-0058	1	1	包括的地域保健・医療の素養を身につけること。	仙台市5区での研修内容の統一
00153	4-0064	1	1	・管理型病院である仙北組合総合病院の場合により、保健所2週間老健2週間となっている。	・地域の実情を良く認識してもらおうプログラムとした。また、地域保健の理解ができるような内容にするよう配慮した。(講義中心ではなくできるだけ現場活動から理解いただけようように工夫した)
00278	4-0067	1	1	具体的な研修場面で活用できるもので、全県保健所における標準プログラムとして作成。(秋田県・秋田市版)	具体的な行動目標として、経験事項をチェックし、自己評価できるようにした。
00176	4-0069	1	1		可能な限り「実体験」(今後)
00248	4-0070	1	1	単なる見学ではなく、保健所の業務を実践していただくことを検討している。	
00177	4-0071	1	1	別紙回答票による	

研修受け入れ 1: H17年度受け入れ予定; 2: 研修協力施設だがH17年度受け入れ未定; 3: 研修協力施設ではない; 4: その他

臨床研修「地域保健」研修(保健所プログラムの特色、重視点、課題、等)

(2005. 4. 5.)

入力番号	施設コード	苦心点、課題	その他	備考
00301	4-0023			
00277	4-0024	受入体制の確保、模擬事例の作成。また、健診は市町村実施なので研修機会が確保できるか未定。	今までの研修では、資格取得前の医師、保健師、栄養士等の研修を受け入れているが、医師としての研修で不安であるが、保健所のPRIに努めたい。	
00161	4-0027	保健所側のマンパワーに余裕がない。		
00218	4-0028	指導医はもろろん、歯科医師、薬剤師、保健師、栄養士、獣医師などあらゆる職種が得られるような働きかけ		
00150	4-0030	・区保健センターでの研修は行わないとのこと、具体的に経験できる業務が少なく、机上演習をとり入れざるを得なかった。保健所で行う業務が医師とどのように関わりを持たせるのかという点がわかりずらく、計画を立てずらかつ		
00031	4-0036	種々の監視員の証を交付できないか？検討中		
00032	4-0044	〃	4週間のプログラムで、研修を予定していたが、管理型臨床研修病院(県立宮古病院)のプログラムには、『地域保健』が必修研修に入っていないので、自由選択研修時に、2週間の保健所研修を受けるよう、指導してもらったこととした。尚、将来は2週間の必修研修になる予定	
00225	4-0045			
00158	4-0048			
00286	4-0049	警察官通報、食中毒、感染症など予定出来ないが、重要な研修をシミュレーションだけでよいのか、検討を◆す	研修プログラムはまだ作成されていないが、研修受入れ時期までには、検討のうえ作成予定。	
00145	4-0052		・実習日程もまだ決っておらず、具体的な内容は未定です。(老健等での実習日程が決まってから、連絡がくることになっており、3月下旬～4月上旬に日程が決まる予定です。)・医師が1人しかおらず、十分な対応ができるか不安です。	
00253	4-0057	〃		歯科医師3名
00091	4-0058	他の保健所実習・指定病院との研修時期・期間の調整		
00153	4-0064	・2週間という短い期間の中で何を盛り込むか検討に時間を要した。		秋田県で統一したテキストを作成している(秋田中央保健所で送付するものと思えます)当部では現在プログラム(計画書案)は作成しているが、県のテキストにそって実
00278	4-0067	事業の思惟だけでなく、実際に実施するしないよをどのように盛り込むか。	全県保健所と市保健所の標準研修プログラムとして作成したので、今後、市保健所としての具体的な実施計画が必要である。	Q7 現在作成中
00176	4-0069	所内担当者間の意識の差がある中で均衡のとれた研修計画を作成すること(今後)		
00248	4-0070	保健所の業務を要請していただくためには、県の職員としての身分を取得していただくことになるが、県本庁では身分取得までは考えていないため、現時点では困難な状況		現在テキスト等を作成中のため、同封不可となります。
00177	4-0071			

研修受け入れ 1: H17年度受け入れ予定; 2: 研修協力施設がH17年度受け入れ未定; 3: 研修協力施設ではない; 4: その他